



▽入れ替え戦

中大	10	5-3	3	大東大
(3部ブロック1位)				(2部ブロック5位)
【得点者】佐藤奈々4、岩野杏3、花井香織2、外山美優1=中大のみ				

(女子、男子の競技写真撮影：提供=布施正義氏・中央
大学生生活協同組合コープスタジオ、クラフト・コア(株))

相手ディフェンスをかわし攻める佐藤奈々選手(77番)

「覚悟」貫き一丸 9年ぶり昇格決めた！

女子ラクロス部、関東リーグ2部復帰

9年ぶりに高い壁を乗り越えた。中央大学女子ラクロス部(中大学友会体育連盟)が、関東学生女子リーグ2015年シーズン・2-3部入れ替え戦に圧勝して、今季は2006年以来、通算8度目の2部リーグに復帰する。勝因は準備・実行・確認の3要素にあった。

松本倫子監督の言葉が胸に刺さった。返事ができない。無口になったのは2015年シーズン・4年生の主力選手らだ。開幕前の恒例ミーティングでは、シーズン目標やゲームプランなどを監督に伝え、アドバイスを受ける。

徹底調査、 全員で攻略法

「目標は2部昇格です」。その返答ではOG監督は納得しない。監督は部の大先輩。大学卒業後も多忙な金融機関勤務の傍ら、クラブチームでプレーを続けている。中大OG会長として長く選手らを見てきた。2015年シーズンから監督兼任となった。

チームは過去8年間、2部昇格を目指し、その都度悔しい思いをしてきた。「今までと同じことをやってもダメ。昇格したいという気持ちだけではねえ。あなたたち、覚悟はできていますか」

4年生は崖っぷちに立たされたかのようにだった。

対戦相手の試合・選手分析の方法を変えた。試合データ(動画)を部員60人超の共有サイトに上げ、攻略法をまず個人で考え、部室に集まっては多くのアイデアから絞り込んだ

独自の必勝法を練り上げた。

相手選手の放つパスの数、選手個々のコース、クセ。防御の長所短所…。耳目に触れたものはすべて調べた。

動画データなどを収集する担当はスカウティングと呼ばれる。峰尾采花主将(商4)が感激した。「ルーズリーフに5枚もびっしりデータが書き込まれていて、意気込みが伝わってきました」

主務、副務、会計などチームを支えるスタッフも汗をかいた。勝利のため、2部復帰のため、部員がそれぞれの持ち場で力を結集する、全員参加型のチームを目指した。

完璧だった「準備」

2015年11月8日、雨が降り続く、寒い日曜日。部員62人は東京・駒場の東大第2グラウンドに集結した。

中大は関東学生リーグ戦・3部Bブロックを4戦全勝で勝ち上がり、2部Aブロック5位・大東文化大との入れ替え戦に臨む。

浮沈をかけたビッグゲームは5年ぶり。奮闘を続ける彼女らには初の体験だった。

秘策があった。佐藤奈々(商4)、花井香織(法4)攻撃の両選手らが

東大側と交渉を重ね、同グラウンドの前日利用を可能にした。

リーグ戦最終戦の関東学院大戦で一度使用しているとはいえ、大一番を前に試合会場で実戦練習をする。1分でも長く慣れておきたい、という気持ちの表れだった。

東大駒場第2グラウンドは人工芝のホッケー場だ。日ごろの練習場・中大ラグビー場も人工芝だが、東大側は「とても硬い人工芝」(関係者)。

「しっかり準備ができていました。雨の中でも練習してきたし、私たちに初めてのことは何もありませんでした」(峰尾主将)。シーズン終盤では、部に「準備・実行・確認」が浸透していた。

好守から主導権、 上位校圧倒

午後1時30分、試合が始まった。中大が先取した。相手ゴール前、トリックプレーの一つ、「3人プレー」で攻めたてる。3人がいずれも



A Tリーダーの佐藤奈々選手
(写真協力:日本ラクロス協会)

■前回2部リーグだった2006年の主な世相

1月	日本郵政株式会社が発足
2月	冬季五輪トリノ大会フィギュアスケート女子で荒川静香選手が金メダル獲得
3月	野球のワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で王貞治監督率いる日本が優勝し、初代王者となる
4月	民主党代表に小沢一郎氏が就任
9月	安倍晋三氏が内閣総理大臣に。安倍内閣発足
10月	阪急ホールディングスと阪神電鉄が経営統合



シュートを打てる体勢をつくり、相手守備陣の目を幻惑させた。

日ごろはラストパスを出す岩野杏選手(文3)が、この日は自ら決めて待望の1点をもぎ取った。サッカー・長友佑都選手(インテル・ミラノ=イタリア)がライン沿いを駆け上がり、ゴールを決めるシーンを思い出させた。

大東大も必死で向かってきた。所属リーグでは格下の中大が前半を5-3で折り返した。後半に「神がかったプレー」(伊瀬豊香主務=法4)が続出した。

主将でゴールキーパーの峰尾選手がナイスセーブ、ファインセーブ、スーパーセーブ。相手の動きを完璧に封じた。守りがよければ、攻撃にいいリズムが波及する。ところが、「シュートしていい?」「私も打って構わない?」と、攻撃陣がエースの佐藤選手に目で訴

えた。チャンスなのにやや困惑の表情だ。

選手による長時間かけた戦術ミーティングで、リードした場面の想定はしていなかった。「私を見てないで、打って!」と言ったら(佐藤選手)、後半は5-0と突き放した。

2部校の大東大に10-3で勝利。試合終了の笛は、峰尾主将がセーブしたボールを前線へ返すときに鳴った。守備陣は次のプレーに集中していたから、「祝福のホイッスル」が聞こえない。

佐藤選手ら攻撃陣はしっかり聞いていた。何度もジャンプして喜ぶ。守備陣が追いかけて抱き合う。サイドラインから、ベンチから、部員が次々に駆け寄る。

ベンチ入りは20選手。出場は12人とさらに絞られるが、戦うのはユニホーム組だけではない。グラウンドの一角の小さな輪は、アツという間



主将の峰尾選手

にチームでつくる歓喜の大きな輪に広がった。降る雨はいとわなかった。

チームの絆、エース支える

復帰まで順風満帆だったわけではない。第2戦の武蔵大戦。エース佐藤選手は自信喪失に陥った。

個人技に優れ、下部リーグにあっても、2015年度22歳以下・女子日本代表(30人)に選ばれた。中大女子では1990年の創部以来初の快挙。歴代屈指の選手と言っている。

第28回(2015年)関東学生ラクロスリーグ戦 女子3部リーグ・Bブロック

順位	大学	勝	分	敗	勝点	得失点差
1	中大	4	0	0	12	23
2	武蔵大	2	1	1	7	19
3	一橋大	2	1	1	7	10
4	東洋英和女学院大	1	0	3	3	-19
5	関東学院大	0	0	4	0	-33

▽3部リーグ戦

試合	月・日	相手	勝敗	スコア
第1戦	8・16	東洋英和女学院	○	14-3
第2戦	9・2	武蔵大	○	5-3
第3戦	9・27	一橋大	○	6-5
第4戦	10・18	関東学院大	○	13-4

▽入れ替え戦

11・8	大東文化大	○	10-3
------	-------	---	------

(2部Aブロック5位)

※試合会場、大井ふ頭中央海浜公園第一球技場=第1、2戦、筑波大多目的グラウンド=第3戦、東大駒場キャンパス第2グラウンド=第4戦、入れ替え戦)



勝利を喜ぶ中大選手。左から佐藤奈々、竹田、佐藤和夢、石川、外山各選手

身長145センチの体に負けん気がいっぱい詰まっている。「当たり負けしたことなんか、ありませんよ」「私が(試合を)決めるというタイプです」。リーダーの自負がある。

3部リーグは4試合戦い、1敗した段階で入れ替え戦出場機会を失う。実質トーナメントの戦いだ。

武蔵大戦で放ったシュート11本はことごとく外れた。無理な体勢からの強引なシュートもあった。決定打はわずかに1本(1得点)。日ごろのシュート数は1試合4、5本だか

ら、放った11本は2部復帰にかける強い自己主張の表れか。

1敗も許されない試合を救ったのは、他のメンバーだった。花井香織(法4)、外山美優(商4)、岩野杏(文3)、田島さやか(商2)4選手がそれぞれ1得点して5-3で開幕2連勝。

佐藤選手がいまでは笑顔で振り返る。

「11本全部覚えています。外れてはっかり。自分で自分が嫌になったのに、チームのだれも私を責めない。『勝ったからイイよ』って、言ってく

れた」

エースは、総合力で勝つことの素晴らしさを知り、チームワーク、チームプレーを再認識した。

第3戦の相手、一橋大は強豪だ。前年は2部所属。入れ替え戦進出へ最大の難所とみられたが、ここを1点差(6-5)で乗り切って目標へ前進。松本監督は「一橋大戦からチームのレベルが確実に上がりましたね」とチームの成長を認めた。

運営は自分たち… 将来に生きる

中大女子ラクロス部の選手たちは、監督の指導の下、目標に向かって、自分たちで考え、組み立て、プレーした。「コーチはいますが、練習メニュー、スケジュールは学生主体でやっています。これが基本です」と監督は言い、こう付け加えた。「この考え方は社会に出てきっと役立ちます」

苦労した。時には涙を流しながら大願を成就したヒロインたち。チームに9年ぶりの慶事をもたらした一方で、彼女らは今後生きる「自立」という鉾脈を掘り当てた。



試合後に応援席の観客らと勝利のハイタッチ。左から田島、竹田、佐藤奈々、芦澤各選手

2部昇格おめでとうございます。今後男女で競い合い、また助け合いながら、共に頂点を目指してラクロスに打ち込んでいきましょう。

中央大学ラクロス部監督 高橋大輔

■ 1部リーグ成績

▽Aブロック 明大、日本体育大、早大、青山学院大、学習院大、千葉大

▽Bブロック 慶大、立大、東海大、法大、明治学院大、日本女子体育大(入れ替え戦の結果、2部降格は学習院大、千葉大、明治学院大、日本女子体育大。1部昇格は東京農大、成蹊大、東京学芸大、東京女子体育大)

■ 2部リーグ戦成績

▽Aブロック 東京女子体育大、東京学芸大、日大、日本女子大、大東文化大、東京女子大

▽Bブロック 成蹊大、東京農大、横浜国立大、東洋大、国土館大、玉川大(入れ替え戦の結果、3部降格は大東文化大、東京女子大。2部昇格は中大、上智大、東大。国土館大は2部残留。)



2015年シーズン 中大女子ラクロス部メンバー

学年	ポジション	名前	学部	身長	出身校	スポーツ歴	ベンチ	試合	その他
4	G	峰尾采花	商	161	都立日野	バスケットボール	○	◎	主将
4	AT	佐藤奈々	商	145	県立大田原女子	サッカー	○	◎	ATリーダー
4	MF	花井香織	法	159	県立浦和西	サッカー	○	◎	DFリーダー
4	AT	佐藤和夢	経	156	桐蔭学園	ラクロス	○	◎	
4	AT	唐橋由紀子	商	164	桐蔭学園	水泳			会計
4	AT	大塚まゆ子	経	160	都立久留米総合	バレーボール			
4	MF	外山美優	商	166	武蔵野女子学院	バレーボール	○	◎	
4	MF	奥村未央	商	158	県立宇土	ハンドボール	○	○	
4	MF	高橋侑季	文	162	平塚学園	陸上			
4	DF	石川 緑	文	159	聖ドミニコ学園	ラクロス	○	◎	
4	DF	竹田菜穂	商	158	都立芝商業	バスケットボール	○	◎	
4	DF	吉成麻依	総	158	青稜				
4	MG	伊瀬豊香	法	160	奈良学園	バスケットボール	○		主務
4	TR	市川倫子	文	160	国学院	陸上	○		
3	G	樋田明子	法	151	県立小倉	バスケットボール	○	◎	副将
3	G	有森あつ紀	文	154	星野	卓球			
3	AT	岩野 杏	文	156	県立保谷	ハンドボール	○	◎	ATリーダー補佐
3	DF	飯野優希	法	156	中央大学付属	バスケットボール	○	◎	DFリーダー補佐
3	AT	村越茜	総	158	東京純心女子	硬式テニス	○		
3	MF	石川歩実	経	159	札幌藤女子	バスケットボール	○	◎	
3	MF	芦澤美奈莉	文	157	淑徳与野	バスケットボール	○		会計
3	MF	清原帆夏	文	155	県立明和	陸上			
3	MF	福原彩花	文	154	中央大学杉並	バドミントン			
3	DF	鈴木沙那華	商	155	都立国際		○	◎	
3	DF	本山夏波	商	165	品川女子学院				
3	DF	大倉優枝	法	160	佼成学園女子	バスケットボール			副務
3	MG	羽鳥友里恵	商	162	熊谷商業	バスケットボール	○		
3	TR	横堀由香	商	152	町田		○		
2	G	新町友佳	法	159	中央大学杉並	硬式テニス			
2	AT	宮下真以子	商	164	中央大学杉並	硬式テニス			
2	MF	田島さやか	商	167	都立富士森	バスケットボール	○	◎	
2	MF	山本佑紀	法	170	県立大和	ソフトボール	○		
2	MF	河村日南子	経	156	千葉英和				
2	MF	岡野珠子	法	161	県立長崎南	陸上			
2	DF	座間陽香	経	163	錦城	ソフトテニス			
2	DF	鈴木晴菜	経	161	江戸川女子	ソフトボール			
2	MG	平澤菜由	経	157	県立茅ヶ崎	バスケットボール			
1	G	三浦恵利子	文	160	県立南多摩	ソフトボール			
1	G	甲斐藍海	法	158	都立西	ハンドボール			
1	MF	佐藤桜子	経	161	都立東久留米総合	サッカー	○		
1	MF	矢澤侑子	経	165	都立小金井北	バスケットボール	○	○	
1	MF	榊 梨花	経	159	富士見丘	バスケットボール	○		
1	MF	高橋萌香	経	160	相馬	バスケットボール			
1	MF	津田美喜	商	159	都立狛江	硬式テニス			
1	MF	瀧口恵菜	法	166	明星学園	バスケットボール			
1	MF	土田知佳	商	160	頌栄女子学院	ソフトボール			
1	MF	亀井美希	商	158	中央大学杉並	バスケットボール			
1	MF	下之園美希	総	168	中央大学付属	陸上			
1	MF	鈴木もも	経	158	新潟商業	バスケットボール			
1	MF	早坂美月	経	169	成立学園	サッカー			
1	MF	田中優里佳	法	162	西南学院	空手			
1	MF	宮川帆奈	法	160	恵泉女学院	サッカー			
1	MF	金光風花	法	160	中央大学付属	水泳			
1	MF	大沼 渚	文	158	国学院大学久我山	バレーボール			
1	MF	佐藤由季	法	155	中央大学杉並	硬式テニス			
1	MF	福本咲希	商	157	青稜	陸上			
1	MF	和田有加	経	160	佼成学園女子	ソフトテニス			
1	MF	山本夏寧	経	154	中央大学付属	チアリーディング			
1	MF	深尾七海	総	161	国際基督教大学	バレーボール			
1	MG	高野日和	文	157	富士見丘	バドミントン			
1	MG	尾上美味	総	154	西南学院	ハンドボール			
1	TR	五十嵐暎	法	166	県立安積黎明	バドミントン			

スタートメンバーは◎

HC	岡崎光穂	中央大学
AC	丸山伸也	日本体育大学
AC	小内由賀	日本大学
AC	佐藤菜生	中央大学
AC	木口屋桃子	中央大学

AT: アタック
MF: ミディ
G: ゴーリー
DF: ディフェンス
TR: トレーナー



女子ラクロス部の首脳陣。左から松本倫子監督、武山眞彦名誉部長、松田俊道部長、熊倉淳名誉監督、岡崎光穂HC、丸山伸也AC、木口屋桃子育成C=2015年度スタートの総会から

勝ち方知る新コーチの力

躍進の原動力で欠かせないのが新加入のコーチ、丸山伸也さん(40) = 日本体育大出身、元男子日本代表選手 = だ。

シュートの名手。中大女子選手に男子トップレベルの実戦プレーを披露することで攻撃面を強化した。「彼は勝ち方を知っています。言葉より実戦が大事」(松本監督)

岡崎光穂ヘッドコーチ(中大出)、小内由賀(日大出)、佐藤菜生、木口屋桃子(ともに中大出) 各コーチの指導力も光っていた。

スローガン「友達つくります」

競技場選手入り口に「Lacrosse Makes Friends」と大書されている(写真上)。新入生が受ける指導では、スローガンを大きな声で言い、みんなで拳(こぶし)を何度も突き上げる。「ラクロスは友達をつくります」

ラクロスはフランス語。ラ・クロスで杖、キリスト教の司祭の持つ杖を意味する。

経験者、わずか2人

ラクロスは多くの学生が大学入学後から始める。中大女子ラクロス部(2015年シーズン)では経験者はわずかに2人だった。高校時代のクラブ活動で多かった順にバスケットボールが17人、テニス7人、陸上競技6人、サッカー5人、ハンドボール・バレーボール・ソフトボール各4人、バドミントン3人、水泳2人、卓球・空手・チアリーディング各1人となっていた。

河川敷を転々と…

練習場の確保に苦労した時代があった。1990年創部、98年に中大体育連盟に加盟し、公認部会となるまでは多摩川周辺の河川敷グラウンドを転々とした。「創部25周年記念」冊子には、こう記述されている。

「ゴールは、古いものはガムテープでつぎはぎしたり、学園祭で1年生のクレープ屋で稼いだお金で買ったたり、置き場所もなくガソリンスタンドの片隅に置かせていただいたり、近くに住む部員の家に置いたりしていた。レスキューやボール、ゴーリーセットは1年生が交代で持ち運んでいた。ラインカーや石灰が無いときは、小麦粉を買ってきて手でラインを引いたり、地面に水道水でラインを引いたりしてした」

現在は中大ラグビー場を使用している。

「文武両道」がモットー

女子ラクロス部のモットーは文武両道。4年生はシーズン序盤の公式戦を就職活動のためやむなく欠場した。卒業後は航空会社、旅客鉄道会社、銀行、証券など学生が希望した企業や団体への就職が決まっている。

ラクロスの練習は午前7時半から授業開始(同9時20分)や昼ごろまで。午後は引き続き授業やゼミ、アルバイトなど各人自在。選手からは「メリハリがあってやりやすい」と好評だ。



ラクロスの試合時間

ラクロスは男女でルールが異なる。チーム編成は男子10人、女子12人。試合は男子が20分×4回のクォーター制。女子は前・後半各25分。